

平成29年度

子供見守り活動 事例集



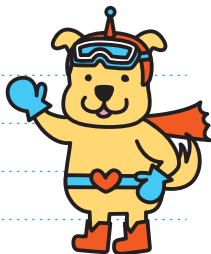
「子供見守り活動」

あなたも始めてみませんか？

「子供見守り活動」とは、近年増加傾向にある子供の犯罪被害から、子供たちを守るためのボランティア活動のことです。

現在、都内各地で、町会や自治会、学校・PTA、警察、有志の防犯ボランティア団体の方々が様々な活動を行っています。

多くの大人たちの目で見守ることにより、犯罪を未然に防ぎ、子供たちの安全安心と健やかな成長を支えます。



安全安心まちづくりを推進するマスコットキャラクター「みまもりいぬ」

できることを自分のスタイルで

～プラス防犯のすすめ～

「プラス防犯」とは、いつもの暮らしの中での行動を防犯の意識をもって行うことです。

具体的には、子供の登下校の時間に合わせて、花の水やりや犬の散歩、ジョギングなどを行うことも効果的な取組といえます。団体でも個人でもすぐに始めることができます。皆さんもぜひ始めてください。

プラス防犯の取組例

花の水やり



ワンワンパトロール



プラス防犯

動く防犯の眼



ジョグパト



大東京防犯ネットワーク.....3
 子供への犯罪傾向.....4

～活動をこれから開始したい方へ～

見守る目の数が犯罪の抑止力.....5
〈昭島市〉昭島市シルバー人材センター
 趣味のランニングで防犯活動.....7
〈都内〉パトラン
 参加しやすい活動の工夫を.....9
〈大田区〉大田区立嶺町小PTO
【コラム】大学生の活動.....11
跡見学園女子大学学生寮「あと パト ガールズ」

～現在の活動をレベルアップしたい方へ～

花壇づくりとまちの美化で防犯活動.....13
〈町田市〉旭町二丁目町内会
 地域のネットワークで子供見守り.....15
〈西東京市〉保谷第一小学校しらうめネットワーク
 防犯情報マップを活用したパトロール.....17
〈調布市〉株式会社 五洲管財
 パトロール小屋でまちと公園の見守り.....19
〈港区〉白金台どんぐり児童遊園どんぐりパトロール小屋
【コラム】個性豊かなまちの防犯活動拠点.....21



平成29年度本部長賞.....23
 ながら見守り連携事業.....24
 子供見守り活動のヒント(過年度の掲載活動事例).....25

大東京防犯ネットワーク

東京都青少年・治安対策本部では、防犯ボランティアを応援するポータルサイトを「大東京防犯ネットワーク」を運営しています。

ぜひご覧ください！



大東京防犯ネットワーク (URL) <http://www.bouhan.metro.tokyo.jp/>

防犯情報マップ

都や区市町村の情報、防犯ボランティアの活動、活動の手引き等を紹介！

- ①子供の安全マップ
- ②特殊詐欺マップ
- ③町丁字別犯罪情報マップ
- ④防犯団体活動情報マップ
- ⑤施策情報マップ
- ⑥放置自転車マップ

子供の安全マップ

子供に関する情報がマップに表示されます。

交通事故の発生日点や不審な声掛け件数を町丁字別色分けマップで表示します。

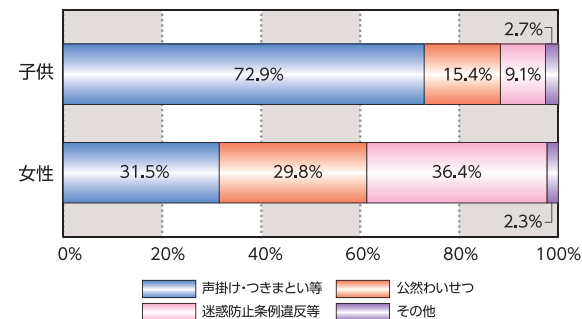
- ⚠️ 子供(13歳未満)の交通事故発生日点
- ⚠️ 13歳以上の交通事故発生日点

地域をクリックすると子供への不審な声かけ情報が表示

子供への犯罪傾向

●子供や女性に対する声掛け・つきまとい等の前兆事案の発生報告

平成29年中の子供に対する声掛け・つきまとい等の前兆事案に関する報告の割合は、声掛け・つきまとい等が最も多く、全体の7割以上を占めています。

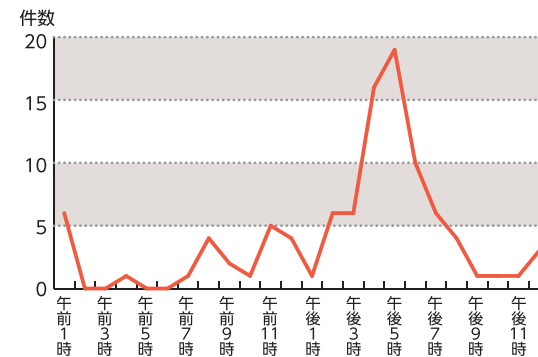


都内では13歳未満の子供に対する性犯罪(強制性交等・強制わいせつ)も発生しています。時間別、場所別の発生状況等(平成29年中)を以下に示しますので、日々の活動の参考としてください。

(※グラフの構成比の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあります。)

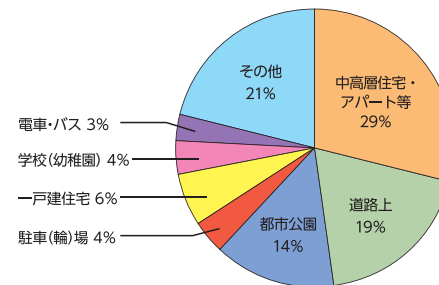
●時間別発生状況

13歳未満の子供に対する性犯罪の約6割は、下校時間帯(午後2時から午後7時)に発生しています。



●場所別発生状況

中高層住宅、道路上、都市公園で発生した事件が全体の5割以上を占めます。



<本ページの統計は、警視庁生活安全総務課 集計>

「見守る目の数が犯罪の抑止力」

約400人の会員による地域見守り

取組の背景

活動立ち上げのきっかけは、平成17年に昭島市シルバー人材センター設立30周年記念事業としてパトロールボランティアを始めようという声があり、発足しました。現在、1,100人ほどがセンターに会員登録しており、その中の約400人がパトロール活動を行っています。



昭島市シルバー人材センターのメンバー

現在の活動内容

会員は、市内6つの中学校地区に分かれて活動を行っています。小学生の下校時間になると、市から無線放送で「見守りをお願いします」というアナウンスが流れます。それに合わせて、パトロールの開始です。

活動は、平成23年に策定した要綱に基



パトロール風景

づき、午後2時から4時に2名以上で腕章・ベスト・帽子を着用して行うチームパトロールと、単独で行う個人パトロールの2種類があり、会員は自分の参加できる活動を行っています。

また、2か月に1回、各地区のパトロールボランティアが集まる委員会を開催し、積極的な意見交換や情報共有を図って活動の質を高めています。



腕章・ベスト・帽子を着用してパトロールを行います

活動のポイント

①「要綱」の策定

要綱を策定することによって、活動の方針や方法を示し、活動の内容を統一させることができます。年月が経ち、担い手が変わっていても継続した活動を行うことができます。

「昭島市シルバー人材センターパトロールボランティア実施に関する要綱」(抜粋)

- 第2 センターが行うパト・ボラ活動は、児童生徒への犯罪被害をなくすための抑止力を作り上げること
を趣旨とする。
- 第5 パトロールボランティア活動の種類は、次のとおりとする。
- (1) チームパトロール
- ① 原則二名以上の会員で定められた通学路地図により巡回し、児童生徒への目配り、気配りにより安全に備える。

②活動紹介DVDの作成

当センターでは、会員登録者への研修会で、活動への参加を促すDVDを放映しています。このDVDは会員が自ら作成したもので、組織体系や活動風景、参加者の感想などを紹介し、人員確保に大きく貢献しています。



DVDのワンシーン

活動の成果

活動を継続する中で顔見知りの子供たちが増えていき、元気にあいさつをしてくれるような関係を築くことができます。また、会員同士の交流の場にもなっているので、仲間が増え、生きがいを感じることももつながられています。

ひとこと

まずは第一歩として、家の外に出てみるということが大切です。仲間とのつながりができる

ことで、日々の活動がどんどん楽しくなっていきます。そして、子供たちの笑顔を見ることによって、私たち自身もいつも元気をもらうことができます。



パトロールボランティア委員長の栗原さん

「ランニングをしながら地域の安全を守る」

趣味のランニングを活かした新しいスタイルの防犯活動

活動のあらまし

パトランとは「ランニングによるパトロール」から生まれた造語。趣味のランニングを通して地域の安全、健康づくり、人のつながりを実現する新しいスタイルの防犯活動のことで、平成25年に福岡県で始まって全国に広がりました。



パトランのメンバーのみなさん

現在の活動内容

パトランの時間帯は帰宅途中の女性や塾帰りの子供たちを対象とした夜間パトロール(午後8時～11時)と、下校時間パトロール(午後3時～5時)。どちらも30分程度のランニングで、犯罪被害の抑制を目的としています。



パトランのルートマップ この日は約1時間のコース



東京都庁～笹塚を走るパトランメンバー

トレードマークは「パトラン」の文字が白く染め抜かれた真っ赤なTシャツ。先行している地域に比べると、都内での活動はまだ浸透していませんが、月に一度の合同パトランを開催するなど、住宅街を中心にパトロールを続け、認知度の向上に努めています。

ここがポイント!

パトランは1人でもできる防犯活動で、義務も強制も一切なし。走れる人が、走りたい時に走るだけです。フェイスブックを通じた緩やかなつながりで、走るモチベーションを高め、防犯活動の担い手を確実に育てています。

活動の成果

交通量の多い都内のランニングでは、車もさることながら、自転車との接触事故の危険があります。反射板の腕章とパトランの赤いTシャツは目立つので、自転車も安全運転を心がけてくれます。パトランでは、できるだけまちの人に声かけしながら走り、犯罪抑止に目を光らせています。



パトランのHP



前面は「パトラン」

背面は「Patrol Running」

今後の展開、展望

パトランのテーマのひとつに街頭犯罪の抑制があります。東京のメンバーはまだ少ないですが、ランニング愛好家は大勢いる。そういう人たちがもっとパトランに関心を持ってくれるよう、パトランの活動をもっと盛り上げていきたいと思っています。

ひとこと

行政や警察と連携して定期的な防犯活動を行えるよう、東京チームを立ち上げたい。東京オリンピック・パラリンピックに集まる国内外の方々が、安心して過ごせるまちづくりを目指していきます。

「できるときに、できることを、できる人がやる」

ボランティアによる自主的な保護者活動で子供の安全を守る

活動のあらまし

嶺町小学校ではPTAならぬPTOが中心となり、学校行事や地域行事への参加、登下校時の見守り活動などを、すべてボランティア活動として行っています。参加者の自主性を引き出すことで、スムーズな運営が可能となっています。



嶺町小学校PTOの団長、副団長のみなさん

現在の活動内容

嶺町小学校PTOの活動は、地域と協力して行うお祭りや防災訓練、広報活動、サークル活動など実にさまざま。PTO内に設置したボランティアセンターが活動ごとに参加者を募り、サポーター登録した保護者が申し込む仕組みです。



登校時間の安全を見守る

子供の見守り活動もそのひとつで、通学路での見守りや、スクールゾーンの看板出しを行っています。通勤や買物のついでに「ただ今パトロール中」と書かれたPTOの名札を着ける活動も行っています。ちょっとした工夫で、行き届いた見守りを行うことができます。

ここがポイント!

PTOはParent(親)・Teacher(先生)・Organization(団体)の略称。義務的で負担が大きいと敬遠されがちなPTAを廃止し、「できるときに、できることを、できる人がやる」というコンセプトで発足したのが「楽しむ学校応援団」PTOです。

活動の成果

保護者が参加しやすい仕組みができたおかげで、サークル活動や夢プロジェクト(随時行うイベント)など、活動の幅が広がっています。新旧の住民が混在する町ですが、PTOを通じて地元の人たちとのつながりが生まれ、地域ぐるみで子供たちを育てよう、見守ろうという、地域力の高い町になっています。



パトロールに欠かせないステッカー



手作りの通学路マップ



イベント時の迷惑駐輪対策に「駐輪禁止君」の効果は絶大



今後の展開、展望

PTOはきっかけを増やして参加しやすい仕組みがあったらいいな、という思いから生まれました。試行錯誤の末、ボランティアセンターにサポーターが登録するという現在の形ができましたが、これに固定化することなく、常に進化していける組織でありたいと考えています。

ひとこと

サポーターになってみたいと思いがながら迷っている人に、あと一歩を踏み出してもらえよう、さらにオープンな活動を心がけていきます。

跡見学園女子大学学生寮『あと パト ガールズ』

団体の概要

「あと パト ガールズ」は、跡見学園女子大学学生寮寮生の有志で作られた防犯ボランティア団体です。

平成29年の春に地元の大塚警察署から防犯団体を作らないかというお話があり結成しました。

現在、メンバーは寮生の1～3年生で10名。寮生会の会長・副会長・会計の3人が中心となり、寮生の靴箱にお手紙を入れるなどして、防犯に関心がある人を集めました。



発足式

6月には、活動を希望する寮生10名が警察署の学生ボランティア活動連絡会に出席し、活動の方法や注意点などを確認しました。

発足式は、平成29年7月29日に大塚警察署の講堂で行いました。

当日は夏休みだったため、帰省などで残念ながら出席できなかったメンバーもいましたが、4名が出席し、警察署長から委嘱状を受け取りました。



学生ボランティア連絡会議の様子



「あと パト ガールズ」発足式

活動のようす

活動は不定期。警察署からの連絡があると、「あと パト ガールズ」のグループラインで呼びかけて当日参加するメンバーを募ります。

活動内容は防犯パトロールのほか、警察署のイベントのお手伝いとして、駅前で振り込め詐欺被害防止のティッシュ配りをしたり、車に乗って防犯啓発のアナウンスをするなど多岐に渡ります。高齢者への防犯グッズとして、ストラップづくりを行ったこともあります。

ユニフォームには、警察署からもらった、背中に「あ」のマークが入った揃いの赤いハッピがあります。



車に乗って防犯啓発アナウンス



活動をしてよかったと思うことや今後の展望

この活動を通じて、寮内で学年を越えて交流ができるようになったことが良かったと思います。来年はもっとメンバーが増えてほしいと思うので、自分達が活動している姿を見ることで、防犯に興味をもつ人が出てきてくれればいいなと思います。



代表者の一言

寮生は親元から離れて暮らしているので、安全については特に気を付けなければいけないと思います。他の寮生にも、こういった防犯の活動に参加することで、安全について考えるきっかけにしてもらいたいと思います。



寮生会長の井本さん(左)と会計の松田さん(右)

「花壇づくりと清掃パトロールで 犯罪の起こりにくいまちづくり」 パトロール・花壇づくり・環境美化活動で防犯力アップ

活動のあらまし

旭町は町田駅から北西に少し離れた住宅街です。二丁目町内会では花壇づくりがきっかけとなり、環境美化や防犯パトロール、小学生の登校の見守りなども行うようになりました。清掃を兼ねたパトロールが犯罪の防止につながっています。



旭町二丁目町内会のみなさん

現在の活動内容

見守り活動の原点となった美化活動は、不法投棄が多かった児童公園をきれいにするのが目的でした。花壇整備の行き帰りや水やり、朝の清掃活動などを続けたことで街全体がきれいになり、犯罪の防止につながっています。



会長の中一登さん(右)、副会長の鮎川常夫さん

現在の子供の見守り活動は、毎朝の登校時の安全の確保が中心。約500世帯の町内会の子供たちは町田市内の4つの小学校に分かれて通うため、すべてに目を光らせることはできませんが、会長の中一登さん、副会長の鮎川常夫さんは毎朝腕章を着けて子供たちを見守っています。

ここがポイント!

子供の見守りや清掃パトロールを、誰かがやってくれていることに「気づく」人は自分もやろうと思う傾向がある。「気づかい」のある人は挨拶や声をかけてくれる。それを積み重ねて地域の防犯力を「築く」。そういう町を目指しています。

活動の成果

毎月第2・第4水曜日の朝9時から、花壇の手入れをしつつ、ゆっくりと街を歩いて清掃パトロールを行うほか、「東京都ふれあいロード・プログラム」の認定(八王子町田線)を受け、道路の美化活動や緑化活動にも取り組んでいます。町内会の集まりでは防犯や通学路の安全についての情報交換をしています。



清掃活動に出発



コンクールで入賞した自慢の花壇



今後の展開、展望

主なメンバーは60歳代～80歳代。見守り活動に気づき、新たに参加してくれる次の世代を取り込むため、特にリタイアした男性の地域デビューが期待されます。そのためにも常に外に開かれた、風通しのよい町内会でありたいと思います。

ひとこと

見守り活動は続けていきますが、目の行き届かない場面もある。子供たちが危険を察知する能力を身につけられる機会を増やしていきたいと思います。

「しらうめマーク」で共通の防犯意識を育て 地域ぐるみで見守る

毎朝自宅前で子供たちの登校を見守る「送り出しリレー」が定着

活動のあらまし

しらうめネットワークには保谷第一小学校の通学区内の15の団体が参加。共通認識を持つためのツールとして作成された「しらうめマーク」のリフレクターを全児童と地域住民が保持し、ランドセルやパトロール用の自転車に貼れるステッカーにも「しらうめマーク」をあしらっています。



地域ぐるみの防犯活動のシンボル
「しらうめマーク」(左)と「しらうめステッカー」(右)

現在の活動内容

毎朝、登校時に行われているのが、保護者や地域住民が校門前で子供たちに声をかける朝のあいさつ運動、警察と連携して通学路の危険と思われる6ヵ所に保護者が立って登校を見守る登校指導、そして送り出しリレーです。



上) あいさつを促す立て看板にもしらうめマーク
左) 朝の暮らしの一角が防犯活動につながる送り出しリレー

ここがポイント!

送り出しリレーは保護者や地域住民が、毎朝の登校時間に合わせて自宅前の掃除やゴミ出しを行い、自宅の玄関先から子供たちをリレー式に学校へ送り出そうという呼びかけによる自主的な活動。日常生活を効果的に防犯活動に結び付け、防犯意識の向上にも役立っています。

活動の成果

登校時の見守り活動を通じて地域の大人と子供のコミュニケーションが深まり、下校時のパトロールや声かけも、遊び場の確認などもスムーズに行えるようになりました。多くの団体が様々な形で関わっているので、読み聞かせや地域のお祭りへの参加など、見守りの場は通学路や通学時間帯以外にも広がっています。



危険箇所で行う登校指導



自転車用の「安全パトロール」



警察と連携して安全を確保



参加団体のひとつ防犯協会によるパトロール

今後の展開、展望

一連の取組により、平成28年度に東京都青少年・治安対策本部長賞を受賞しました。これからも各団体の代表による連絡会を定期的に開催して情報交換と関係を深め、地域の力を活かして子供自身の防犯意識を高めていきたいと考えています。

ひとこと

15の団体に関わることで可能となる多様な見守り活動が特長。定期・不定期のパトロールを含め、時間的にも空間的にもさらに充実させていきたいと思っています。

「市内をくまなく巡回して子供の安全を守る」

東京都の「防犯情報マップ」を活用した子供見守り活動

活動のあらまし

「株式会社 五洲管財」は建物管理や設備メンテナンス等を手がける会社です。地域の安心安全に貢献するため、平成22年度から調布市の委託を受け、子供の見守り活動を中心とした子供安全・安心パトロールを行っています。



抜群のチームワークでパトロール

現在の活動内容

パトロールには青色防犯パトロール車両4台を使用、学校休校日を除く毎日、原則として日中は午後1時から午後5時まで、市内を4つのブロックに分け、2人1組で市内12の小中学校を中心に巡回しています。

夕方は午後6時に出発、午後10時まで、空き家、不法投棄、コンビニ、住宅街など、防犯上、重要な地点を網羅しています。

子供の多い公園では車を停めて問題がないかどうかをチェックし、小学校では事務室に立ち寄って状況を確認します。青パトの1日の走行距離は約60kmに達します。



安全運転で、いざ出発！

ここがポイント！

平成28年10月から、東京都の「防犯情報マップ」のうちの「子供の安全マップ」を使い始めました。地域ごとの不審な声かけ情報や交通事故の発生地点などが地図上でわかりやすく表示されるので、見守り活動に役立っています。

「子供の安全マップ」の詳細についてはP3を参照して下さい。

活動の成果

4ブロックをシフト制で巡回しており、市内の道路地図はすべて、巡回者の頭の中に入っているのが何よりの強み。これに、調布市や各学校からの指示事項、各自が受け持ち区域で得た情報を上乗せし、不審な声かけや不審者情報があった地域を重点的にパトロールし、地域の防犯力の向上の一端を担っています。



責任者の小澤 令さん



出発前には洗車、点検を欠かしません



「子供の安全マップ」を確認



今後の展開、展望

防犯活動では情報を取得する早さと共有が大切です。子供の安全マップは危険区域が赤で表示され、一目で注意すべき場所がわかります。パトロール前の打ち合わせで毎日利用していますが、近隣の自治体に関する情報を簡単に得られることも、不審者の動向を知りううえで大きなメリットになっています。

ひとこと

下校中の子供たちに声をかけし、コミュニケーションをとるようにしています。「いつも見守られている」という安心感を持ってもらえたらいいなと思います。

「白金台どんぐり児童遊園 どんぐりパトロール小屋」 パトロール小屋でまちと公園の見守り

パトロール小屋とは

地下鉄の白金台駅を降りて、目黒通りを進んでいくと、近所の人たちや保育園の子供たちで賑わう「どんぐり児童遊園」があり、その入口にまちや子供たちを見守る「どんぐりパトロール小屋」があります。

このパトロール小屋は、児童遊園ができて間もない2008年10月に開設されて以来約10年、自主的に公園の管理を行う「どんぐりの会」が中心となって活動を続けています。



公園の入口でまちを見守り続けるパトロール小屋

現在の活動内容

パトロール小屋を活動拠点としている白金台町二丁目町会は、毎週月曜日の11時から12時に集まって、道案内や公園の見回りなどを行っています。公園に来た人から落とし物を届けられて預かることもあります。



多くの子供が訪れるどんぐり児童遊園

また、どんぐりの会では、公園で年に3回、フリーマーケットなどを行う「ココロ市」を開催したり、地元の児童館が主催する「わんぱく祭」や、商店街が行うフェスティバルを手伝ったりもしています。

活動のポイント!

雨が降っていても、暑い日も寒い日も、定期的・継続的にパトロール小屋に人がいることが大切。

パトロール小屋でのできごと

パトロール小屋は、まちの人や警察署の人など様々な人が訪れ、まちで起きている色々な情報が聞ける交流の場になっています。

特に、通学路での見守りをしていいる人などから、小学生が事故に遭いそうになった場所や、まちの危険な場所などの貴重な情報を聞くこともあり、みんなで情報を共有しています。

パトロール小屋でのできごとは、毎回日誌に記録するようにしています。



パトロール小屋のその日のできごとを記録した日誌

活動の成果

限られた時間でも、定期的にパトロール小屋に人がいるということが大切です。「あそこに行けば人がいる」ということをまちの人が知ってくれば安心につながります。悪いことをしようとしている人にも抑止力になると思いますので、まちの治安には良い影響があるのではないかと考えています。



白金台町二丁目町会の皆さん
多いときには6~7人集まります

ひとこと

定期的にパトロール小屋に集まり、それを10年継続していくというのは、とても大変なことです。やはり人が集まってくれることが大変ありがたい。町会内の役員の方が集まってくれるので、これからも続けていきたいと思っています。



どんぐりの会・白金台町二丁目町会会長の中島さん

コラム 「まちの防犯活動拠点特集」

まちの防犯活動拠点とは

町会や自治会、商店会などが中心となって、まちの防犯活動拠点を作る取組が広がっています。

これらは、「民間交番」や「防犯ステーション」などと呼ばれ、交番のように道案内をしたり、防犯パトロール活動の拠点として活躍するほか、地域の交流の場としても大きな役割を果たしています。

地域の特色を活かしたバリエーション豊かなまちの防犯活動拠点の一例をご紹介します。



都内の防犯活動拠点事例

世田谷区「明大前ピースメーカーズBOX」

明大前商店街振興組合

平成14年開設の民間交番の草分け的存在。京王線明大前駅のすぐ目の前にあり、道案内や困りごとの相談を受けることもあります。青パト活動や防犯パトロール、小学生の登下校見守り活動等の拠点としても活用しています。



杉並区「ほっとステーション柳窪」

高井戸東地区防犯パトロール隊

地域のバス会社の協力を得て、平成24年に五日市街道沿いのバス運転手交代所を改造して開設。

青パト活動や防犯パトロールの拠点として活用するほか、道案内なども行っています。



板橋区「森の番所」

南ときわ台民間交番管理運営委員会

ときわ台駅南口の商店街の一角にある天祖神社が中心となり平成18年に開設。

午前・午後・夜間の3交代、2人一組で常駐し、毎日実施のパトロール拠点としても活用しています。



台東区「上野6丁目防犯センター」

地元町会・商店会

御徒町駅南口を出て春日通り沿いに見える、大きな提灯が目印の防犯センター。

防犯に関する啓発活動や上野6丁目自主パトロール隊の集合場所など、安全・安心の拠点施設として犯罪抑止に効果を発揮しています。



本項でご紹介したものは、ほんの一例です。

このほかにも、様々な団体が色々なまちの防犯活動拠点をつくり、活発に活動しています。

● 平成29年度東京都青少年・治安対策本部長賞授賞式を行いました。

都内では、約4千の防犯ボランティア団体が地域の防犯活動に取り組んでおり、こうした活動は、都内の刑法犯認知件数15年連続の減少など東京の治安向上に貢献しています。

東京都では、このような団体等に対し、感謝の意を表するため、平成28年度より「青少年・治安対策本部長賞」として表彰しています。

本部長賞は、表彰状と感謝状の2種類があり、毎年、区市町村の推薦に基づき、都が贈呈します。

【表彰状】

長年、防犯活動を継続的に実施している個人・団体や、地域の安全安心に関して模範となる先駆的な防犯活動を実施している個人・団体を表彰します。

【感謝状】

1年以上防犯活動を実施している団体などを表彰します。

● 平成29年度表彰式

平成29年10月11日、第2回目となる表彰式を都庁都民ホールで開催し、青少年・治安対策本部長から表彰状を29人・33団体に、感謝状を36団体に贈呈させていただきました。



表彰状受賞者の皆さま



感謝状受賞者の皆さま

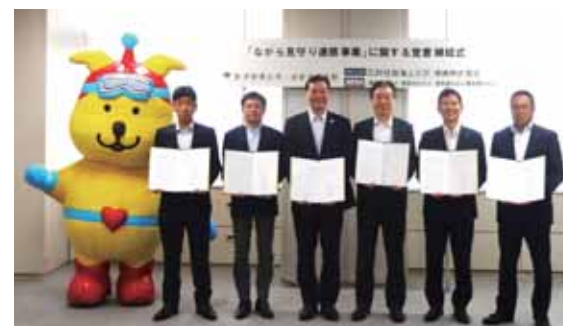
● 「ながら見守り連携事業」の覚書を締結

東京都は、地域に密着した事業者と協定等を締結し、事業者により日常の業務を行っていただきながら子供や高齢者等を見守っていただくなど、安全かつ安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

平成29年度、東京都青少年・治安対策本部は、三井住友海上火災保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、住友生命保険相互会社、東京海上日動火災保険株式会社と「ながら見守り連携事業に関する覚書」を締結しました。

覚書内容（一部抜粋）

- (1)東京都は、事業の実施に当たって事業者に対して必要な支援を実施する。
- (2)事業者は、各店舗等に対して本協定の趣旨を周知するとともに、「ながら見守り」に関する取組について区市町村と協議し、各店舗等において実施できるよう支援する。
- (3)東京都と事業者は、必要に応じて情報交換を行い、相互に連携する。



平成29年9月13日締結式の様子



「ながら見守り連携事業」覚書締結事業者（平成29年末時点）

（一社）東京都信用金庫協会、日本郵便（株）東京支社、（株）セブン-イレブン・ジャパン、（株）ローソン、（株）ファミリーマート、ミニストップ（株）、山崎製パン（株）、（株）ポプラ、国分グローサーズチェーン（株）、（株）スリーエフ、（株）イトーヨーカ堂、東京都牛乳商業組合、東京ヤクルト販売（株）、東京都新聞販売同業組合、多摩新聞販売同業組合、ヤマトホールディングス（株）、佐川急便（株）、東京電力ホールディングス（株）、三井住友海上火災保険（株）、損害保険ジャパン日本興亜（株）、住友生命保険相互会社、東京海上日動火災保険（株）

● 子供見守りのヒント (過年度の活動事例紹介)

活動の活性化

活動継続や仲間づくりの工夫



- 還暦野球倶楽部オールドスターズ (23年度・p16-17)
- 馬橋ご近所付き合い広目隊 (23年度・p22-23)
- 高井戸東地区防犯パトロール隊 (24年度・p8-9)
- 和泉ピースプラスワン (24年度・p22-23)
- 明大前ピースメーカーズ (25年度・p22-23)

ワンワンパトロール

犬の散歩をしながら
子供の見守り

- 新高円寺わんわんパトロール隊 (23年度・p10-11)
- 牛込ワンワンパトロール隊 (24年度・p10-11)



環境美化

落書き消しによる
防犯力アップ



- 柏木地区協議会 (25年度・p10-11)

花植え活動

植栽を通じた
子供の見守り



- 花畑地区前通り町会 (25年度・p6-7)
- 羽ヶ田町内会 (28年度・p3-4)

子供110番の家等への駆込み体験

子供の危機回避能力を
高める取組



- 中野区西町町会子供と共に進む会 (23年度・p12-13)
- 学園東町・子ども見守り隊 (25年度・p8-9)
- セイフティ・ハロウィン実行委員会 (26年度・p7-8)

危険箇所の点検・改善

子供が安全安心に
暮らせる地域づくり



- 南白糸台小学校とその児童・PTA・自治会 (26年度・p11-12)
- 子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進会 (28年度・p5-6)

日頃の活動の参考としてください。過年度の子供見守り活動事例集は「大東京防犯ネットワーク」でご覧いただけます。

小学校との連携

小学校と円滑に
連携した取組



- 山王町会防犯パトロール隊 (26年度・p13-14)
- 聖ヶ丘子ども・おとしより見守り隊 (26年度・p17-18)

事業者の防犯活動

地域社会の一員
としての防犯活動



- 東京都信用金庫協会 セブン-イレブン・ジャパン (28年度・p9-10)
- 日野自動車株式会社 (28年度・p11-12)
- スーパーオートバックス 東京ベイ東雲 (28年度・p17-18)

学生ボランティア

若い力による
子供の見守り



- 明治薬科大学マナーアップ委員会 (26年度・p21-22)
- 日本女子体育大学 学友会 (27年度・p17-18)
- 明星大学防犯ボランティア隊 MCAT (28年度・p19-20)

登校時の見守り

ユニークな
見守り活動



- 和田三丁目西町会 (24年度・p12-13)
- 鈴木孝雄さん ● 橋本豊明さん (25年度・p17)
- 上ノ原まちづくりの会 (26年度・p15-16)

危険箇所の点検・改善

行事を通じて
顔見知りを増やす取組

- 四谷地区青少年育成委員会 (23年度・p8-9)
- 子ども見守りチャレンジ事業実行委員会 (24年度・p6-7)



子供の居場所づくり

世代間交流を活かした
居場所づくりの取組

- “がきんちょ”ファミリー (24年度・p14-15)
- 下北沢・コーデ騎士団 (25年度・p14-15)



東京都では、防犯カメラや見守り活動に必要な装備品等への補助を行っています。詳しくは「大東京防犯ネットワーク」をご覧ください。



平成 29 年度 子供見守り活動事例集
平成 30 年 3 月発行

編集・発行 東京都青少年・治安対策本部 総合対策部 安全・安心まちづくり課

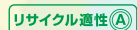
〒163-8001

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 第一本庁舎北塔34階

電話 03-5388-2282

ホームページ <http://www.bouhan.metro.tokyo.jp/>

登録番号(29)47



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。